

## 主題：神のエコノミーと分与

メッセージ 12

聖なる息としての究極的に完成された霊を呼吸して、  
神性と人性の合併としての御父の家に住むことによって、神聖な分与を経験する

聖書：ヨハネ 7:39. 20:22. 14:2-3, 20, 23

- I. わたしたちは、手順を経て究極的に完成された三一の神の究極的完成としての、究極的に完成された霊のビジョンを見る必要があります——ヨハネ 7:39. ガラテヤ 3:14 :
- A. 究極的に完成された霊は、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活の過程を経過した後の三一の神です——ヨハネ 7:39 :
1. 三一の神が経過して「その霊」と成った手順は、本質上の事柄ではなく、エコノミー上の事柄です——1:14. ヘブル 9:14. I コリント 15:45 後半 :
  2. 「手順を経た」は、三一の神が神聖なエコノミーの中で経過した各段階を指しています。「究極的に完成された」は、手順が完了していることを示します。「究極的に完成された霊」は、神の霊が手順を経て究極的に完成され、その霊と成ったことを暗示します——ヨハネ 7:39。
  3. 究極的に完成された霊は、三一の神、人なるイエス、彼の人の生活、死、復活の複合の霊です——39 節. 使徒 16:7. ローマ 8:10-11. ペリピ 1:19。
- B. 主イエスが十字架につけられ復活させられる前、究極的に完成された霊は「まだなかった」——ヨハネ 7:39 :
1. 神の霊は初めからありましたが（創 1:2）、「キリストの霊」（ローマ 8:9）また「イエス・キリストの霊」（ペリピ 1:19）としてのその霊は、イエスの栄光が現されていなかったもので、ヨハネ第 7 章 39 節の時には「まだなかった」。
  2. 主イエスが復活させられたとき、彼の栄光が現され、この栄光を現すことを通して、神の霊は、肉体と成り、十字架につけられ、復活したイエス・キリストの霊と成りました——ルカ 24:26. ペリピ 1:19。
  3. 最後のアダムは、肉体におけるキリストであり、復活において命を与える霊と成りました。それ以来、イエス・キリストの霊は神聖な要素と人の要素を持っており、キリストの肉体と成ること、十字架、復活の実際を含みます——I コリント 15:45 後半. 使徒 16:7. ローマ 8:9。
- II. 究極的に完成された霊は、聖なる息として復活の中で御子によって弟子たちの中へと息吹かれました——ヨハネ 20:22 :
- A. ヨハネによる福音書が啓示しているのは、キリストが肉体と成って神の小羊となったこと、復活において命を与える霊と成ったことです。こうして、彼は復活においてご自身を究極的に完成された霊として、弟子たちの中へと息吹きました——1:29. 20:22 :
1. 第 20 章 22 節の聖霊は、第 7 章 39 節で期待され、第 14 章 16 節から 17 節、26 節、第 15 章 26 節、第 16 章 7 節から 8 節、13 節で約束されたその霊です。これが示

すのは、主が聖霊を弟子たちの中へと息吹くことが、別の慰め主の約束の成就であるということです。

2. 彼が弟子たちの中へと息吹かれたのは、彼が弟子たちの中で生きることができ、彼らが彼によって彼と共に生きることができるのは、彼が彼らの中に住むことができ、彼らが彼の中に住むことができるのは、その霊としてです—— 20:22. 14:19-20. 15:4-5.
3. その霊を弟子たちの中へと息吹くことによって、主イエスはご自身を命またすべてとして彼らの中へと分け与えました。
4. 第 20 章 22 節の聖霊は、実は復活したキリストご自身です。なぜなら、この霊は彼の息であるからです。ですから、その霊は御子の息です。

B. 主は命を与えるその霊であり、この霊はわたしたちの息です—— II コリント 3:6, 17. ヨハネ 20:22 :

1. 言は神であり、肉体と成って神の小羊となり、復活において、わたしたちが吸い込むための聖なる息となりました—— 1:29. 20:22.
2. 今やわたしたちは、言、小羊、木、息としてのキリストを持っています。言は表現のためであり、小羊は贖いのためであり、木は命の分け与えのためであり、息はわたしたちの生きるためです—— 1:1, 29. 10:10 後半. 14:19. 15:1.

C. 息としての究極的に完成された霊は、クリスチャン生活を生きることにおいてわたしたちのすべてです。息、その霊だけがクリスチャンになることができ、息、その霊だけが勝利者になることができます——ガラテヤ 3:2-3, 14. ピリピ 1:19. 啓 2:7.

III. 御父の家は彼の安息と満足のためであり、手順を経て究極的に完成された神と、彼の贖われ、再生され、造り変えられた選びの民とで構成された、神性と人性の合併です——ヨハネ 14:2-3, 20, 23 :

- A. ヨハネ第 14 章 2 節の「わたしの父の家」はキリストのからだ、神の現れのための神の家としての召会です——エペソ 1:22-23. I テモテ 3:15. エペソ 2:21-22.
- B. 御父の家には多くの住まいがあります。これはキリストのからだの多くの肢体であり、キリストのからだは神の宮です——ヨハネ 14:2. ローマ 12:5. I コリント 3:16-17.
- C. あなたがたのために場所を用意しに行くことが意味するのは、主が場所を用意し、贖いを完成し、道を開き、わたしたちが神の中へと入る立場を造るということです——ヨハネ 14:2-3, 6.

D. わたしたちは御父の家に住むことの内在的な意義を見る必要があります—— 2-3, 23 節 :

1. 御父の家に住むとは、命としての三一の神の中で生きることです—— 1:4.
2. 御父の家に住むとは、光の中で生きることです—— 8:12.
3. 御父の家に住むとは、復活の中で生きることです—— 11:25.
4. 御父の家に住むとは、実際の中で生きることです—— 1:14, 16-17. 14:6. 16:13.
5. 御父の家に住むとは、神聖な栄光の中で生きることです—— 17:22-23.
6. 御父の家に住むとは、牧養の生活をするということです—— 21:15-17.
7. 御父の家に住むとは、神聖な愛の中で生きることです—— 14:23.
8. 御父の家に住むとは、神の建造の中で、またそのために生きることです—— 23

節。

9. 御父の家に住むとは、一を守るために究極的に完成された霊の神聖で奥義的な領域の中で生きることです—— 7:39. 14:20. 17:11, 23。

©2014 Living Stream Ministry